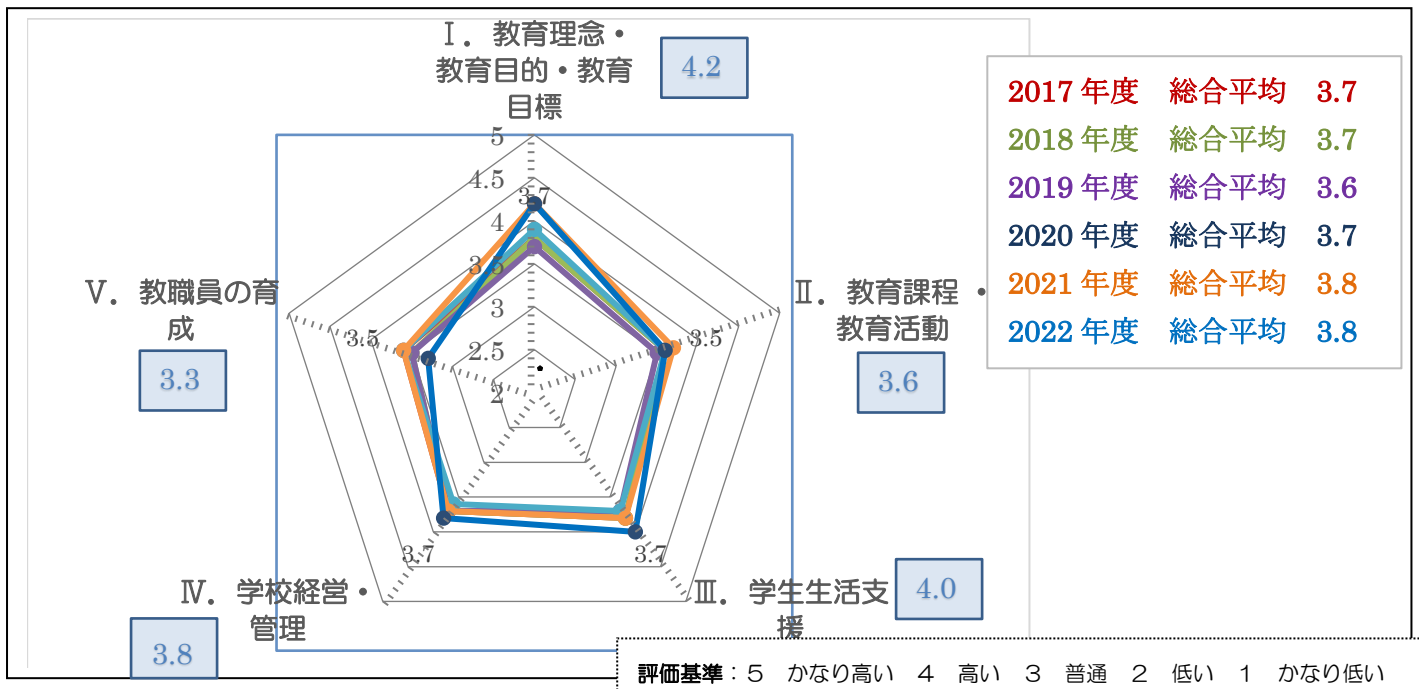


2022年度 学校運営 自己点検自己評価（2023年1月実施）



2022年度、教職員による自己点検・自己評価の総合平均点は、**3.8**で昨年と同様でした。大項目の平均点は上記のグラフを参照して下さい。昨年度は、【I. 教育理念・目的・目標】の項目が4.2と高得点で、新カリキュラムの構築により教職員の理解が得られたことが要因でした。今年度も4.2と同様の結果で継続して教育目的・目標を踏まえて教育を実施していきます。また、昨年度は、【II. 教育課程・教育活動】が3.7で前年度より上昇しましたが、今年度は、**3.6**と**0.1**低下しました。再項目では＜II-2 授業運営・授業方法の妥当性＞が3.1、＜II-4 実習環境・指導体制＞が3.3といずれも**0.3**の低下となりました。これは、新カリキュラムによる新しい科目の増設や教育方法を変更したこと、さらに旧カリキュラムの同時運営のため、過密なカリキュラムとなり効果的な授業運営に至らなかったことが考えられます。また、電子テキストを活用した授業や資料の配布の配信、レポート提出をオンライン上で行う等**ICTを活用した授業方法**を行いました。時間はかかりましたが、学生には定着しつつある一方で、通信機器を苦手とする学生は成績の向上が難しいことがわかりました。次年度は、そのような学生を**早い段階からの個別指導を強化**していきます。また、教職員は新しいシステムを理解し活用する負担はありましたが、研修等を取り入れ段階的に活用できるようになっています。

12月、新カリキュラム運営の**中間評価**を全体で行い、**次年度に向けての課題**を明確にしました。対策として、開講時期の変更や教育方法等を検討できました。大項目IIで唯一上昇したのが＜II-3 終了認定の公平性と過年度学生への対応＞でした。特に過年度学生への対応は、全体で情報交換を行い学年担当が中心となり指導を統一できていたと評価します。また、夏休みに「**学生自習室**」を増築しました。月の利用のべ人数は、160～200人で毎日10人前後活用しています。静かな部屋で集中した学習ができるということで学生にも好評です。

上昇した大項目は【III. 学生生活支援】が**0.2**、【IV. 学校経営・管理】**0.1**でした。大項目IIIでは、特に＜III-1 心身の健康管理＞と＜III-3 国家試験対策の妥当性＞が**上昇**し、学年ごとに、丁寧な健康管理や学習支援が行われ定着してきたと考えます。また、大項目【IV. 学校経営・管理】では＜IV-3 入試選抜の公平性・妥当性＞が前年度**0.4**と上昇したのですが、さらに**昨年度より0.2**上昇しました。入試委員が中心となり、運営のマニュアルにもとづき実施できていることが上げられます。しかし、近年の18歳人口の減少や看護系の増加から、本校近隣の大学や専門学校が多数あり、**本校の受験生の数が減少しているのが課題**です。そのため、本校のアドミッションポリシーに沿う学生の選抜のため教職員は協力し、本校の魅力が伝わるような「**オープンキャンパス**」や「**ホームページ・学校案内のパンフレット**」の工夫、**SNSを活用した情報提供**等をさらに強化していきます。

一方、＜IV-5. 地域社会との交流・貢献＞が一昨年低下しましたが、**今年度は、0.5**上昇しました。感染予防のために、近隣の人々と直接的な交流ができない状況が続きましたが、今年度は、新しい単元「**地域と社会**」や「**地域における看護活動**」等の**学習**が加わり、感染対策をしながら地域探索をする校外学習を取り入れ、板橋区の現状を把握する学習ができたことが要因と考えます。

最後に、今年度の国家試験の結果は、97.1%（68名受験。入学時74名。1年次退学4名、休学2名）でした。（全国平均90.8%、新卒者95.5%でした。新カリキュラム2年目となり、昨年度の課題を踏まえてより良い教育ができるよう教職員全体で努力していきますので、今後とも皆様のご協力をお願いいたします。